糸魚川市駅北大火からの「復興まちづくり」の進捗状況

新潟県糸魚川市

糸魚川市駅北大火　計画の進捗状況①

糸魚川市

①大火に負けない消防力の強化プロジェクト

①住宅用火災警報器（連動型含む）の設置推進

・H29.11から市内3か所で国のモデル事業（連動型）を実施中
・通常の住宅用火災警報器設置率は　81%（H29.6.1現在）
　H30年度警報器と消火器の更新、設置に対して補助（2,000円）

②初期消火体制の強化

・小規模飲食店への消火器設置を義務化（H29.12から条例施行）
・小口径消防ホース（40mm）を用いた住民による効果検証
　（市内8か所）を実施。H30年度から順次更新予定

③常備消防及び消防団の初動体制の強化

・消防団出動区分表を見直し、第1出動時の出動台数を増強
・糸魚川、能生、青海の3方面隊による合同訓練を継続

④関係機関、団体との応援協定の締結

・H29年度　生コン組合、市内郵便局、宿泊業関係団体等と
　協定を締結（H30.3末現在45件61者と協定）
・県外消防本部との応援協定は、引き続き協議中

◀ 屋外警報機能も備えた
機器の設置状況

▲住民による放水操作（左：口径65mm　右：口径40mm）

▲生コンミキサー車による補給注水（大火当日）

糸魚川市駅北大火　計画の進捗状況②

糸魚川市

⑤強風時における飛び火対応の強化

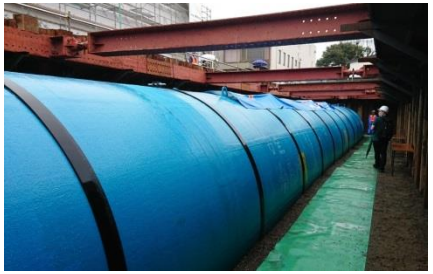
・「強風時火災防ぎょ要領」に基づき、訓練を実施

▲飛び火警戒の予備注水班

▲ドローンによる高所監視

⑥大型防火水槽の設置

・被災地及び周辺の防災水利の検討を実施し、大型防火水槽の位置や規模を選定（200㎥1基、100㎥1基）



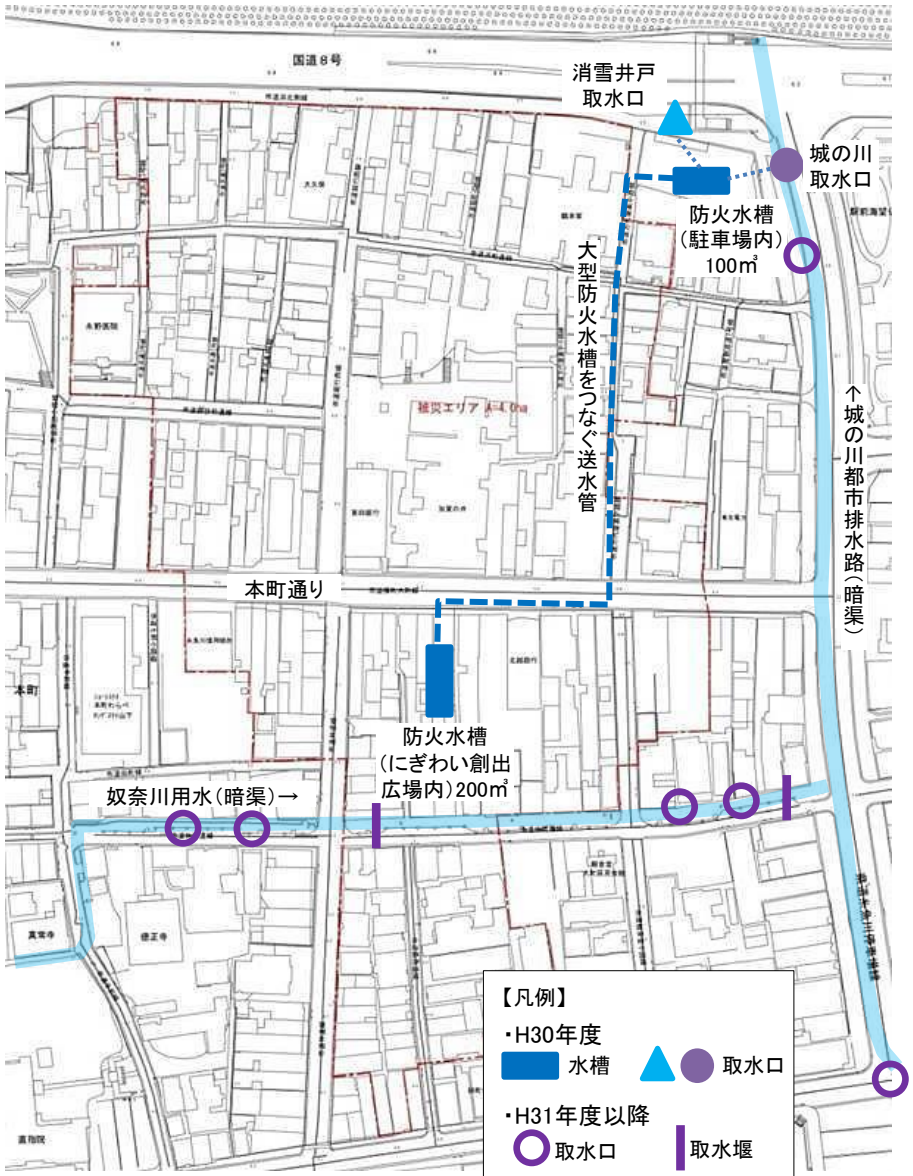
にぎわい創出広場地下の大型防火水槽（200ﾄﾝ）

⑦海水や用水など自然水利の活用

・奴奈川用水、城の川排水路からの取水位置を選定

・海水や消雪井戸から防火水槽への給水系統、2基の大型防火水槽をつなぐ送水管について整備計画を立案

防火水槽整備・自然水利活用計画位置図（H30.3現在）



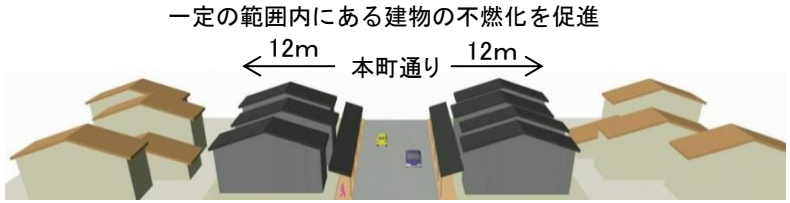
糸魚川市駅北大火　計画の進捗状況③

糸魚川市

②大火を防ぐまちづくりプロジェクト

①本町通りにおける延焼遮断帯の形成

・沿線の建物について準耐火建築物以上として条例化(H30.1)
・建築費用の一部助成を開始(H29.9)

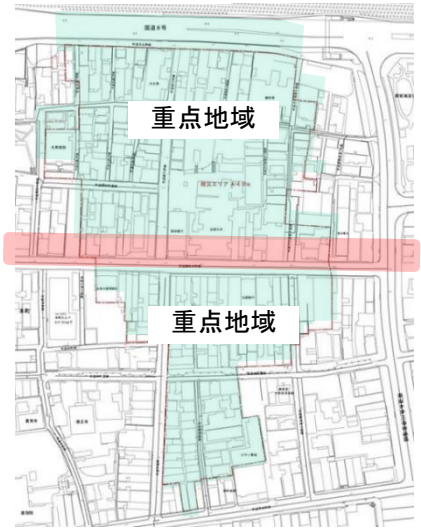


▲延焼遮断帯のイメージ

②木造の建築物が密集する地域における建築物の不燃化に対する支援

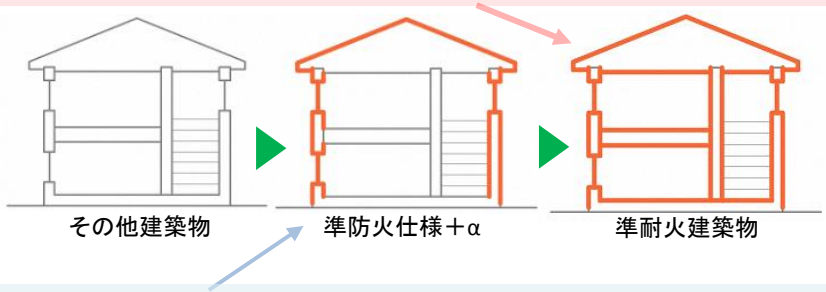
・本町通り沿線以外(重点地域)は、市独自の防火仕様を推奨
・建築費用の一部助成を開始(H29.9)

不燃化促進事業区域図



本町通り沿い
(延焼遮断帯)

本町通り沿線
・道路境界から奥行12mの範囲の建物について準耐火又は耐火建築物とする
・建築物の延べ面積に応じた金額を助成



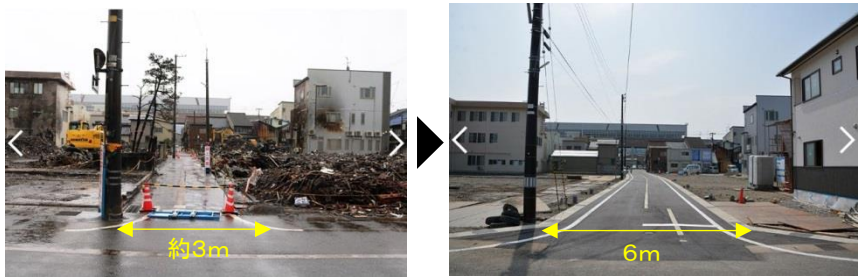
重点地域
・外壁及び軒裏の全てを防火構造とする
・法令で防火構造とする必要がない部分の経費全額を助成(上限30万円)

糸魚川市駅北大火　計画の進捗状況④

糸魚川市

③防災機能を高める市道の拡幅

・計画延長約1,200mのうち約9割がH30.5までに完了



火元付近の市道藪西通り線

④防災機能を備えた広場の整備

・再建しない方等の土地を集約し公共用地を確保（約4,000㎡）

・大型防火水槽の設置や一時避難所としての機能を有する公園（広場）の配置位置について具体化

⑤延焼の拡大を防ぐ植栽・植樹の促進

・景観不燃化ガイドラインで個人再建での緑化を位置付け

・(4)の防災公園(広場)の整備時に併せて実施

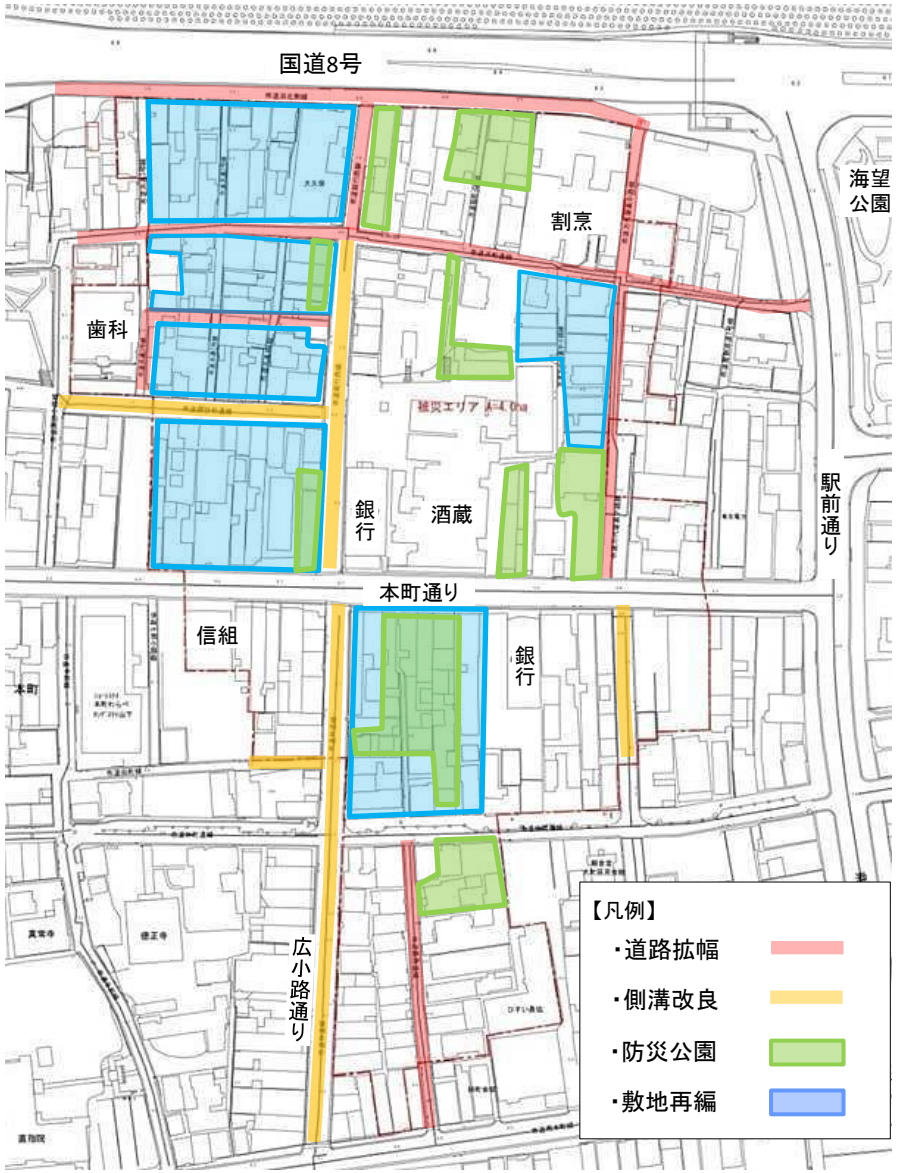
（計画上はH30年度からの実施）

⑥被災地域における敷地再編による木造の建築物が密集する地域の解消

・被災地内の5地区で土地区画整理事業を実施（H30.6完了）

・うち1地区では土地区画整理事業と併せ市営住宅用地を確保

大火を防ぐまちづくり事業計画位置図



糸魚川市駅北大火　計画の進捗状況⑤

糸魚川市

③糸魚川らしいまちなみ再生プロジェクト

①雁木再生への支援

・本町通り沿線の被災者や関係者を中心に勉強会（5回）、検討会（2回）を開催し、景観不燃化ガイドラインを策定（H29.9）
・雁木の建築に要する費用の一部助成を開始（H29.9）

②地場産材等を活用した復興モデル住宅の推奨、支援

・当初計画した復興モデル住宅の建設については、建設位置や時期等の理由により施策内容を再検討中
・施主の協力を得て、景観ガイドラインに沿った建物の工事中における内覧会を実施

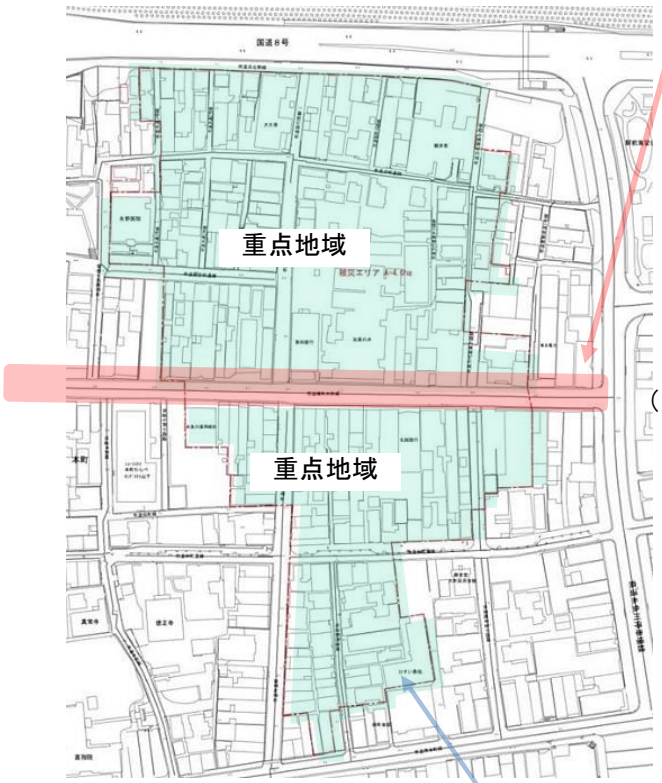
③雁木のあるまちなみと調和する住宅や店舗の建築促進、支援

・景観不燃化ガイドラインを策定(H29.9)、改訂（H30.5）
・景観への取組に対する助成を開始（H29.9）

◀屋根の向きや色合い等をガイドラインで規定

糸魚川らしいまちなみ再生事業区域図

本町通り沿線
・雁木の整備費用や整備延長に応じて補助金額を算定
・道路に面する窓に縦格子を設ける費用全額を補助（上限10万円）



重点地域
・建物の配置、屋根、外壁についてガイドラインを満たす場合（上限40万円）
・道路に面する窓に縦格子を設ける費用全額を補助（上限10万円）

糸魚川市駅北大火　計画の進捗状況⑥

糸魚川市

④道路や歩道の美装化

・景観との調和、耐久性や歩行動線等を勘案し工法と実施する8路線を選定

⑤無電柱化の推進

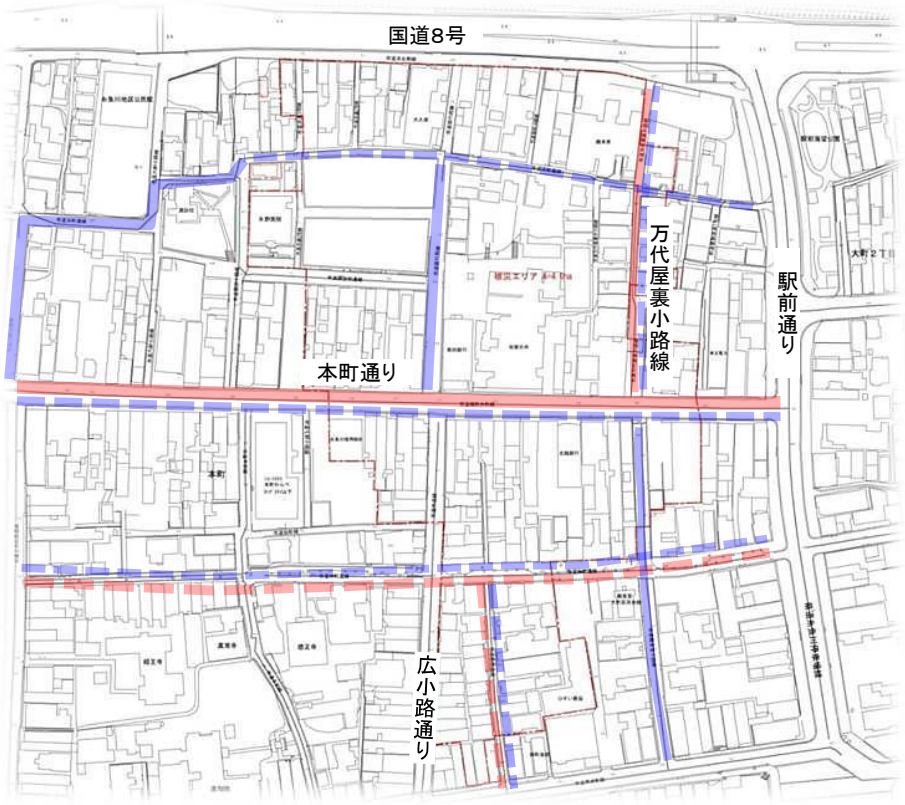
・無電柱化実施路線の検討を行い、優先的に実施する4路線を選定

【道路美装化と無電柱化のイメージ（左：現況、右：VR再現イメージ）】

（本町通り）

（万代屋裏小路線）

道路美装化、無電柱化路線計画位置図（H30.3現在）



糸魚川市駅北大火　計画の進捗状況⑦

糸魚川市

④にぎわいのあるまちづくりプロジェクト

①防災とにぎわいの拠点施設の整備

・「若者・子育て世代が集いたくなるヒトづくり・マチづくりのたまり場」をコンセプトとした機能検討を実施

・官民連携による整備、運営体制について調査を実施
（セミナーの開催、民間事業者との対話など）

◀ にぎわい創出広場（仮整備）

②にぎわい創出広場の整備

・にぎわい創出広場の仮整備を実施（H29.11）

・広場を活用したイベントの実施
復興マルシェ（H29.11、H30.4、H30.6、H30.8）
復興イルミネーション（H29.12～H30.1）
雪山イベント（H30.1）、復興メギス祭り（H30.3）

・H30年度本整備に向けてワークショップを4回開催

▲復興マルシェ

▲復興イルミネーション

▲雪山イベント

▲広場ワークショップ
（チャレンジミーティング）

糸魚川市駅北大火　計画の進捗状況⑧

糸魚川市

③事業再建支援の拡充とUIターン創業の促進

・事業所再建時における金融支援（補助、利子補給等）

・糸魚川市復興・活性化支援タスクフォースと糸魚川市創業支援ネットワークによる創業家育成セミナー「1Day Startup Dojo」の開催（H30.3）

④まちづくりを担う人材の育成

・長岡造形大学（被災地周辺の都市デザインの提案）

・新潟薬科大学（市内高校生も交えたワークショップにより郷土愛の醸成と主体性を創出）

・公益社団法人中越防災安全推進機構によるコーディネート

⑤日本海と海の幸を生かした誘客強化

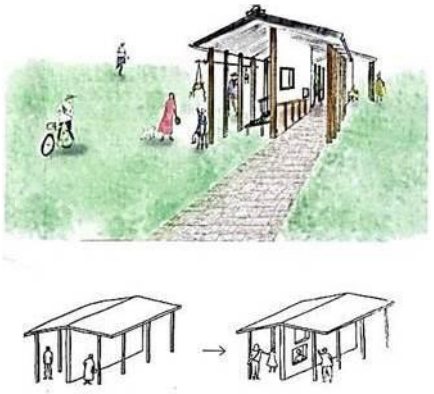
・観光協会によるまちあるきツアーの実施
（H30.2末現在　58組　1,247人）

・大糸線の利用促進施策との連携
（サイクルトレイン　244人利用、キハストラップ配布）

⑥海望施設の検討

・事業条件等について国道や海岸管理者と協議中

賑わい創出広場における雁木をモチーフとした通路の提案 ▶



▲まち歩きツアーの実施

糸魚川市駅北大火　計画の進捗状況⑨

糸魚川市

⑤暮らしを支えるまちづくりプロジェクト

①医療、福祉や子育てサービスと連携した市営住宅の整備

・被災者を対象とする意向調査により18戸の戸数を確定
・1階に併設する訪問医療診療所の事業者を特定
・木造3階建（一部2階建）の準耐火建築で周辺との景観の調和にも配慮（H31.春頃の入居を予定）

▲市営住宅のイメージパース

▲入居希望者との先進地視察
（富山県射水市）

②被災地域へのUIターンの促進

・復興まちづくり計画地域（17ha）における家賃補助や空き家取得補助制度の拡充を制度化（H30.4から実施予定）
・市域全体で移住体験ツアー（1泊2日）やインターンシップ（1か月程度）の実施による首都圏在住者との交流を実施

③誰もが気軽に集える場づくり

・空き店舗を活用し復興まちづくり情報センターを開設
（利用者数1,706人：H29.10.23開設からH30.3月末まで）
・復興集落支援員を2人配置し相談等に対応。

▲若者による話し合い

▲視察への対応

糸魚川市駅北大火　計画の進捗状況⑩

糸魚川市

④日常生活の支援を行う相談員の配置

・社会福祉協議会で生活支援相談員を２人配置
（戸別訪問のべ数　320件：H29.7～H30.1）
・市の保健師が戸別訪問により健康状態を把握
（戸別訪問のべ数　461件：全5回実施）

▲市内団体主催の交流事業

⑤生活再建のための金融等の支援（生活資金と再建資金）

・生活資金借入に対する利子補給（H30.1末現在　1件）
・住宅再建資金借入に対する利子補給（H30.1末現在　2件）

糸魚川市駅北大火　計画の進捗状況⑪

糸魚川市

⑥大火の記憶を次世代につなぐプロジェクト

①防災とにぎわいの拠点施設の整備（再掲）

・防災の側面から施設に必要な機能について検討

②こども消防隊の設置

・駅北大火1年事業シンポジウムでこども消防隊を発足
（糸魚川中学校区を主体とする小学2～5年生39人で発隊）

▲こども消防隊発足式（H29.12.22）

▲1回目の活動（消火器操作訓練）

③ホームページ等による復興情報の発信

・復興まちづくり情報センターの開設（再掲）
（利用者数1,706人：H29.10.23開設からH30.3月末まで）
・復興ホームページ「HOPE糸魚川」を開設（H29.12）
閲覧状況　50,423件（H29.12.1～H30.2.28）
・駅北大火1年事業シンポジウムを開催（H29.12.22）
約800人の来場。
・小学生向け社会科副読本を製作（H30.2）
・駅北大火1年記録紙の発行（H30.2）

▲復興ホームページ「HOPE糸魚川」

▲復興情報紙

▲小学生向け副読本

④復興まちづくり版マンホール蓋への更新

・蓋の更新区域を定め、デザインの検討を開始
（計画上はH30年度からの実施）

⑤防火と大火の記憶を受け継ぐ植樹の促進（再掲）

・被災地内の広場などの整備に合わせ場所を調査
（計画上はH30年度からの実施）